

TOKYO NIKIKAI

# Opera

vol.332

Dec.2022



NIKIKAI ANNIVERSARY



# 70<sup>th</sup>

established in 1952



演出家 パリトン  
**宮本亞門さん × 黒田 博 スペシャル対談**  
伝統と革新、100周年を目指して

70周年特別企画、スペシャル対談のトリを飾るのは、20年間にわたり、東京二期会で演出を手掛ける宮本亞門さんと、常連キャストとして、ともに創り上げてきた黒田博。思い出を振り返り、次世代へつなぐオペラのあり方を語ります。



オペラの中で、  
心えぐられる貴重な体験を

新たな価値観、解釈で  
オペラの世界を広めたい

**宮本** もう20年ですか。思い返せば、二期会の最初の仕事はベテラン勢が手強くて、オペラの仕事は怖い笑」というのが第一印象でした。でも、ある先輩の女性歌手が「自由に好きにやってみようよ、私なんて逆立ちしたって歌えるんだから」と言ってくれ、その言葉に救われて、今は心地よく演出させてもらい、かえってちょっと心配になるくらいです。

**黒田** 亞門さんの舞台はオペラ歌手にそんなことさせるのだから、刺激的で楽しいです。懐かしいエピソードですが、観劇を終えた幼少の息子が「お父さん、女の人のおっぱい触ったの？」って。

**宮本** 僕がそんなにリクエストした？ 記憶

にないな(笑)。真面目に話すと、黒田さんはいつも寛容で、頭の回転が速く、要求したものに對してできないと頑固にならず、前向きに次々とチャレンジする。それがいつも予想以上の表現なので、学ぶところがとても多い方なんです。

**黒田** 「本当にオペラ歌手なの？」って、最高の褒め言葉をいただいていたから、エスカレーターのようになったのかも(笑)。演出家は将棋棋士で、僕らは駒。フラットな気持ちで、桂馬にも歩にも王将にもなるというのが僕の信条。求められたことには、まずチャレンジする。1週間やってダメだったら、次の10日、本番ギリギリまで。舞台人としての矜持です。

**宮本** さすが二期会の軸として、支えてきた方の言葉は説得力があります。どんな役でも黒田流に歌も演技もこなす。これから先やってみようとは思いますが？

**黒田** 音楽家を目指した原点である、シューベルト「冬の旅」は歌いたいとは思いますが、今はオペラでいっぱい思っています。日本の昔話を題材にした、子ども向けのオペラ企画。それと、田舎暮らし。

**宮本** 田舎暮らし？ まだまだ挑戦できることはたくさんあると思いますよ。

**黒田** じゃ亞門さんは？

**宮本** 僕は老害と言われるまで働きたくないけど、現代オペラや、定番をどのような新しい形で見せていけるか挑みたい。時代

が大きく変わる中、オペラのあり方をしっかり見ていきたい。オペラが次の世代に受け継がれ生き残るためにも戦略的に考えなくてはならないですからね。『魔笛』をゲームの設定にしたり、垣根を越えて観客を取り入れたり、伝統を守るのも大切な一方、不易流行、時代に合わせて自由に。黒田さんの想いと同様、オペラ好きな子どもが増えるよう、未来へつなげる道に関わりたくですね。

**黒田** 亞門さんの「ドン・ジョヴァンニ」や『蝶々夫人』を観た若い学生が、わけわからないけど、心をえぐられたって。普段の生活でそんな体験できないでしょ。それがオペラの持つ力とも思いますね。

**宮本** 2作とも新しい価値観、解釈で実験

**SPOT DATA**  
対談場所は、イタリアを代表するファニチャーブランドの旗艦店「ボルトローナ・フラウ東京青山」。1912年の創業以来、最高級の素材と、受け継がれてきた職人技を駆使したものづくりが定評。魅力的な優美な家具が揃う。

**宮本亞門 Amon Miyamoto**  
東洋人初の演出家としてNYオンブロードウェイで「太平洋序曲」を上演、トニー賞4部門ノミネート。国内外でジャンルを越えて活躍を続ける。東京二期会では「ダ・ポンテ三部作」他、多数を演出。19年に東京でワールドプレミアを迎えた『蝶々夫人』はドイツ、ゼンパーオーパー・ドレスデンでも好評を博す。著書に「上を向いて生きる」(幻冬舎)。

**黒田 博 Hiroshi Kuroda**  
ペーター・コンヴィチニーやカロリーネ・グラーバーら多くの著名演出家から信頼を得、東京二期会や新国立劇場での数々のオペラに主要な役で出演。「ドン・ジョヴァンニ」題名役をはじめ幅広いレパートリーで、宮本亞門演出に欠かせないバリトンとして活躍を続ける。来年7月『椿姫』(原田諒演出)ジェルモンで出演予定。二期会会員

撮影:佐藤久 構成・文:吉浦由子

CONTENTS 二期会通信 | TOKYO NIKIKAI OPERA Dec.2022 vol.332

- P.2 【二期会70周年特別企画】  
＜スペシャル対談④＞ 宮本亞門さん × 黒田 博
- P.4 衣裳で楽しむ、オペラ『椿姫』
- P.6 『椿姫』出演歌手の素顔
- P.8 日本初演! R.シュトラウス『平和の日』を解説
- P.10 『トゥーランドット』の指揮者、ディエゴ・マテウスさんの躍動
- P.13 東京二期会 2023-2024 シーズンラインアップ
- P.14 TICKETING Information

**COVER**  
70周年を記念して、記憶に残るオペラ公演で表紙を彩りました。

1段目:『蝶々夫人』(2019年) ©三枝近志  
2段目左&中央・3段目右:『お蝶夫人』(1990年)  
2段目右・3段目左:『ラ・ボエーム』(1952年)  
4・5段目左:『ニュルンベルクのマイスタージンガー』(2002年) ©鶴山英次  
4段目右:『ばらの騎士』(2003年) ©竹原伸治  
5段目右:『聲遊び』(1968年)



ともに創る未来へ。-Challenge SEITOKU-

かけがえのない学生時代、思いきり成長したい。  
培った力を、誰かの幸せのために社会で役立てたい。  
その意欲を、変化が加速する新時代に活躍する力へ。  
自由で、多様で、限らない、学びの世界で学問しよう。  
いまの自分を超越る挑戦で、新しい価値を創る力を。

2021-2022 就職競争  
全国女子大学ランキング  
2年連続  
**第1位**  
(97.4% 2022年3月卒業生)  
※卒業生500人以上の女子大就職率  
2022年大学通信調べ

聖徳大学  
音楽学部(女子)  
聖徳大学大学院  
音楽文化研究科  
【博士前期・後期課程】(共学)

聖徳大学大学院 聖徳大学教職大学院 聖徳大学 聖徳大学短期大学部 聖徳大学幼児教育専門学校 光英VERITAS高等学校  
聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 光英VERITAS中学校 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校 聖徳大学附属小学校  
聖徳大学三田幼稚園 聖徳大学八王子幼稚園 聖徳大学多摩幼稚園 聖徳大学附属幼稚園 聖徳大学附属第二幼稚園  
聖徳大学附属成田幼稚園 聖徳大学附属浦安幼稚園 聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)

SEITOKU 〒271-8555 千葉県松戸市若瀬550 TEL.047-365-1111(大代表) https://www.seitoku-u.ac.jp/

めくるめく装いに酔う正統派舞台  
衣裳で楽しむ

オペラ

# 『椿姫』

パリのドゥミ・モンドで繰り広げられる、美しく悲しい愛の物語『椿姫』が2023年7月に上演されます。宝塚歌劇団所属の演出家、原田諒さんにより2020年2月プレミアエで約10年ぶりに新演出となった『椿姫』は、「原点復帰」「王道オペラ」とも評された絢爛豪華な舞台。衣裳を担当した前田文子さんは「演出家、原田さんから、とにかくクラシカルな衣裳を、とのことで、最近のオペラではなかなかオーダーされないのが初めは戸惑いましたが、1860年代のパリの社交界をイメージし、時代考証を踏まえつつ、主役のヴィオレッタの置かれた環境や心の機微を衣裳に込めました」と語ります。これぞオペラ！ともいえるべき舞台を、衣裳とともにお楽しみください。

## パリ社交界に咲いた一輪の椿

当代随一と言われる高級娼婦ヴィオレッタの館で開かれた宴で、貴族の青年アルフレードは美しいヴィオレッタに恋をします。ヴィオレッタもはじめはアルフレードの純粋な愛にとまどうが、一途な気持ちに胸を打たれ、徐々に心を溶かしていく。

その後ヴィオレッタは華やかな社交界の暮らしを捨て、アルフレードとともに幸福な日々を過ごしていた。ある時、ヴィオレッタのもとに厳格なアルフレードの父、ジェルモンが訪ねてくる。「息子が破滅に向かってる」「娘の縁談が破談になりそうだ」などと言って息子アルフレードと別れるように迫る。ヴィオレッタは真実の愛を訴えるが、結局事実を話さず、別れを決意し置き手紙を残し、去っていく。事情を知らないアルフレードは、彼女に裏切られたと思いきや怒り絶望する。

その後パリの社交界に復帰するヴィオレッタ。誤解が解けぬままアルフレードと再会する。その数ヶ月後、病魔に冒されていたヴィオレッタは、病の床に伏せていた。すべての誤解が解け、パリを離れ一緒に暮らすことを約束するが、すでにヴィオレッタの命の灯は消えかけていた。

## 『椿姫』の主役・ヴィオレッタの衣裳



Ayako's Point

[2幕2場]

「誰よりも深い黒いドレスは彼女の心を映す暗い闇」

失意のまま社交界に復帰するヴィオレッタのドレスは、そのシーンに登場する他の誰よりも深い漆黒の色香漂うドレス。晴れやかな白でもなく、華やかな赤でもなく。その黒は、愛を諦めた、悲しい女心をも感じさせます。

Ayako's Point

[2幕1場]

「社交界を離れ、郊外での穏やかな生活を衣裳にも」

半ば隠遁生活とも言える暮らしを衣裳で想起させるため、襟はしっかりと隠し、優しく静かな印象に。自然豊かな郊外に合わせて素材もリネンなどナチュラルなものを多用しています。色も真っ白というよりやや生成りに。

Ayako's Point

[1幕]

「社交界に咲く白い椿をイメージ」

ハートシェイプのデコルテを広く取り、19世紀のサロンを象徴するような、裾が大きく広がったクリノリンスタイルのドレス。素材も肉厚のシルクサテンを使用し、白椿の清らかなつ、花びらの肉厚な感じをイメージ。



▲息子との別れを迫りに行く、アルフレードの父・ジェルモンの衣裳はチャコールグレーのテールコート。冷たい印象や堅実できっちりとした性格を感じさせる中年男性を表現。



▲2人の出会いのシーンでは、アルフレードはミッドナイトブルーの燕尾服。他の女性は赤の椿をイメージした肉厚のシルクサテンのドレスで華やきを添えて。



▶劇中のダンサーたちの衣裳にも注目。中近東をモチーフに黒と金の世界を表現。エキゾチックで大人の舞台を繰り広げる旅芸人一座や、「ムーラン・ルージュ」や「クレイジー・ホース」の舞台のダンサーをイメージしたそう。



▲高級娼婦でヴィオレッタの友人、フローラの衣裳は、華やかながら流麗な色調で小意気な印象に。社交界やサロンに頻りに出入りするこなれた感じをドレスに込めて。ヴィオレッタと対照的なイメージ。

### ヴェルディ『椿姫』

オペラ全3幕 日本語字幕付原語(イタリア語)上演  
指揮:アレクサンダー・ソディエ 演出:原田諒(宝塚歌劇団)  
合唱:二期会合唱団 管弦楽:読売日本交響楽団  
東京文化会館 大ホール  
2023年7月13日(木)18:30、15日(土)14:00  
16日(日)14:00、17日(月・祝)14:00



前田文子 Ayako Maeda

まえだ あやこ・衣裳デザインを緒方規矩子氏に師事。1998年度の文化庁在外研修員として渡英。帰国後、バレエやミュージカルなどさまざまなジャンルの舞台衣裳を手掛ける。オペラでは宮本亞門演出「フィガロの結婚」、栗山民也演出「蝶々夫人」「リア」、岩田達宗演出「ラ・ボエーム」などの舞台衣裳を創作。伊藤薫朔(きさく)賞、読売演劇大賞優秀スタッフ賞、橋秋子賞クリエイティブスタッフ賞、紀伊国屋演劇賞個人賞などを受賞。



# 『椿姫』出演歌手の素顔

『椿姫』が宝塚歌劇団の原田諒さんの演出により、2023年7月に上演されます。ヴィオレッタを演じる種谷典子、アルフレード役の村上公太、主役の2人にお話を聞きました。「お好み焼き」が日常にあるという意外な共通点も発覚。舞台上とは違う表情をのぞかせてくれました。

撮影:奥 陽子 取材・文:松野玲子

アルフレード役を演じる

テノール **村上公太**

2023年7月13日(木)、16日(日) 出演

育ちは埼玉ですが両親が広島出身なのでやきそば入りのお好み焼きをよく食べていました。妻の実家が大阪なので最近は大阪風のほうが食卓にのびます。麺あり・なしという違いだけでなく、具はもちろん工程やソースも微妙に違いますからね…って、こんなお話でいいんですか(笑)? ソースの話が出たのでお話ししますが、公演で各地に行ったときに気になってしまうのが醤油です。台所には買い集めた醤油がズラッと並び、そのなかでもうちには欠かせない広島の牡蠣醤油は1リットルサイズで幅を利かせています。牡蠣醤油もそうですが、関西から西の甘めの醤油が好みです。刺身用、トンカツ用など、メニューによって使い分けます。トンカツと言えば豚の脂は喉の回復にとってもいいですよ! 家ではトンカツとサムギョプサルをよく作りますね。

演歌やフォークソング、  
高音で歌うビジュアル系ロックは原点

休日は5歳になる娘のピアノの練習や遊びにつきあうことが多いです。僕もちょうど5歳のときにピアノを習いたいと親に頼み込み、音楽を志すきっかけとなりました。同じ音楽家である妻はのんきに「うまくなったら譜読みを手伝ってもらいたいな」などと言っています(笑)。

その後も小、中学校とピアノを続け、高校生のときに初めて観たオペラに感激してこの道を目指したのですが、クラシックひと筋だったかというところでもなくて。子どもの頃から父が演歌やフォークソングをよく歌っていたので、一緒に歌うことも多かったですし、ビジュアル系バンド全盛期にはコピーバンドでボーカルやドラムを担当していた時期もありました。様々なジャンルを歌うことで歌手としてのテクニックや表現力が自然と身についた感じがします。

『椿姫』は日本だけではなく、シンガポールでも演じた、思い入れのある作品です。喜怒哀楽の激しいアルフレードは、共感できる部分もあり、大好きな役のひとつ。宝塚歌劇団の演出家、原田諒さんと一緒にできるということもあり、今から楽しみです。

ヴィオレッタ役を演じる

ソプラノ **種谷典子**

2023年7月15日(土)、17日(月・祝) 出演

休日の楽しみは料理です。広島県出身だからか、「やっぱりお好み焼き?」と聞かれることも多いのですが、やっぱりお好み焼きは大好きです。週に1度は食べたくなくなってしまいます。

料理が楽しくなってきたのは、文化庁の研修員としてミラノに行ってからかもしれません。生活費は限られていましたが、野菜は美味しいし、スーパーでは切りたての生ハムやモッツアレラチーズを安く手に入れることができ、食生活は充実していました。

初心者の頃は2時間くらいかけて料理をしていましたが、今は要領を得て、週末にまとめて買物をし、きんぴらや切り昆布などのおかずを1週間分、作り置きするようになりました。平日も疲れたときこそ、夜中にミートソースを作ったり。いい気分転換になるんです。

料理で体と心をリフレッシュ!  
週1で食べたいのはやっぱりお好み焼きです

きちんと食事を摂るうちに疲れにくくなり、食の大切さを実感します。体だけでなく、心も癒してくれるのが食事。そんな体験をロシアでしました。イタリア研修中にひとりでロシアにコンクールを受けに行ったことがあります。やっとの思いで宿にたどり着くと、予約とは違う部屋に通され、諦めきれずに夜中の3時まで交渉。いつもの自分では考えられないくらいまくしたて、精魂尽き果てました。結局、返金してもらい別のホテルをとったのですが、そこでとても親切にもらったのです。

コンクールは残念ながら準決勝で敗れてしまいました。帰りに重い体を引きずりつつスーパーでインスタントチキンスープらしきもの一キリル文字だからなんだかわからなかったのを一買い、ホテルのお兄さんに温めを頼みました。するとチキンスープだけでなく、小さなパンケーキを添えて持ってきてくれたんです。ホロリときました。

来年は『椿姫』で初めてヴィオレッタを演じます。「歌う前にまず設計。言葉、フレーズをどう描くかを考えること」というイタリア時代に指導してくれたマエストロの言葉を常に意識して、丁寧に楽譜を読んで本番に備えたいと思います。



むらかみ こうた・東京音楽大学声楽演奏家コース卒業、新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外派遣研修員として渡伊。G・ディ・ステファノ国際コンクールにおいて「リゴレット」マントヴァ公爵を獲得し出演。東京二期会をはじめ新国立劇場、日生劇場等、国内主要劇場での活躍の他、シンガポールでは「ラ・ボエーム」「魔笛」「サロメ」「椿姫」と数多く客演。二期会会員



たねたに のりこ・国立音楽大学卒業(武岡賞)、同大学院修了(声楽専攻最優秀賞)、新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁新進芸術家海外研修制度にてミラノ、ルガーノで研鑽。第91回日本音楽コンクール第2位等、受賞多数。宮本亜門演出「魔笛」ババゲーナで二期会デビュー。来年1月、2022グランドオペラフェスティバル in Japan「フィガロの結婚」スザンナも予定される。二期会会員



# Friedenstag



## ついに平和が訪れ、人々は歓喜に包まれる

要塞の城門は開かれ、街では敵兵と市民たちが抱き合う。市長は「平和条約が結ばれ、戦争は終結した」と宣言する。敵の包圍軍の司令官も「戦争の終わり」を告げに来る。まだにわかに信じられない司令官。しかしマリアや市民は平和を求めて願う。司令官はついに剣を捨て敵の司令官と抱き合う。人々は長い苦しみの末、平和が来たと喜び、平和の歌で幕が閉じる。



## 「平和の鐘」が鳴るも 畏だと疑心暗鬼の司令官

再び街の要塞。大砲の音が聞こえ、ホルシュタイン人の包圍軍からの総攻撃に身構えるが、敵は一向に攻撃を仕掛けては来ない。そこに教会の鐘が一斉に鳴り響く。マリアは「平和の鐘」だと直感的に思う。また、兵隊から「敵が白旗をあげてやってくる」という知らせを受けるが、司令官は畏だと警戒し「要塞の扉を閉める」よう命じる。そして「最後の兵となっても戦う」と主張する。

# 期待高まる待望の日本初演! R.シュトラウス『平和の日』を解説

いよいよR.シュトラウスの隠れた名作『平和の日』がコンチェルタンテ・シリーズに登場です。宗教戦争であるドイツ三十年戦争の最後の日を題材にしたこのオペラ、奇しくも今の時勢を示唆する内容と言えるでしょう。今回は、この作品をイラストとともにご紹介します。

## 疲れ果てた民衆と司令官の強い覚悟

時は1648年10月24日夜明け、舞台は三十年戦争で包圍された街の要塞。長期にわたって包圍されている要塞の兵士は、皆疲れ切っている。市長らからの「降伏して開城するしかない」という声が高まるなか、司令官は皇帝からの「要塞を死守せよ」という親書を掲げ断固拒否するが、民衆も怒りを爆発させる。市民が去ると兵士たちは、敗北が濃厚も、要塞の爆破と、自決も辞さない司令官への忠誠を誓う。



## 司令官とマリアの夫婦の愛のシーン

場面変わって、司令官と妻マリアとのシーン。マリアが要塞を訪れると、尋常ではない様子に動揺する。「結婚式以来、あなたは笑っていない。私は戦争と結婚したのね」と歌う。要塞を爆破して自決する意志を伝えられるとマリアは「一緒に逃げましょう」と言うが、司令官は「皇帝に誓った以上それはできない。最後まで戦う」と答える。マリアは司令官と最後まで一緒にいることを約束、運命を共にすると決めた二人は、抱き合う。



©Christiane Höhne

### ドイツオペラのスペシャリスト、準・メルクルが幻の傑作を指揮

『イドメネオ』で東京二期会と初協働して以来、『ダナエの愛』『ローエングリン』と共演を重ねる名指揮者、準・メルクルが、東京二期会コンチェルタンテ・シリーズに登場。R.シュトラウスの知られざるオペラ『平和の日』を披露いたします。今回を逃したら二度と聴けないかもしれない幻のオペラ、映像と照明の織り成す世界とともに楽しみください。

### R.シュトラウス『平和の日』

オペラ全1幕  
日本語字幕付原語(ドイツ語)上演  
指揮:準・メルクル  
合唱:二期会合唱団  
管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団  
Bunkamuraオーチャードホール  
2023年4月8日(土) 17:00、9日(日) 14:00



## 2022年「小澤征爾音楽塾」で初めての首席指揮者に就任

「『クラウディオ、君が信頼する若い優秀な指揮者はいるか、いい人がいたら教えてくれないか?』ディエゴ・マテウスの名前を初めて聞いたのは、長年信頼してきた指揮者で盟友のクラウディオ・アバドからの僕への返答の中で、だった。会ってみるとディエゴがなぜクラウディオにそれほど信頼されているかわかった。

——表裏のない真っ直ぐな性格、音楽にかける情熱、より良い音楽のためなら、自分の時間、エネルギーを惜しみなく使う、その姿勢。その気質に、僕自身も共感し、何度もサイトウ・キネン・オーケストラ (SKO)との演奏会にも呼んでいる。(中略)

ディエゴ・マテウスがこれから塾オケを指導指揮してくれることは僕の大きな喜びだ」。

(小澤征爾塾長から歓迎のメッセージより抜粋)  
引用元:小澤征爾音楽塾 ozawa-musicacademy.com



©Shunzo Shiratori

## 小澤征爾音楽塾 オペラプロジェクトで2023年3月『ラ・ボエーム』を指揮

ディエゴ・マテウスは、2023年に小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトXIX G.ブッチーニ:歌劇『ラ・ボエーム』を、首席指揮者として指揮します。



### 小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトXIX G.ブッチーニ:歌劇『ラ・ボエーム』

オペラ全4幕 新制作(原語(イタリア語)上演/字幕付)  
音楽監督:小澤征爾 指揮:ディエゴ・マテウス 演出:デイヴィッド・ニース 管弦楽:小澤征爾音楽塾オーケストラ 合唱:小澤征爾音楽塾合唱団、京都市少年合唱団  
京都公演:2023年3月17日(金)、19日(日)ロームシアター京都 メインホール/東京公演:3月23日(木)東京文化会館 大ホール/愛知公演:3月26日(日)愛知県芸術劇場 大ホール  
お問い合わせは、ヴェローザ・ジャパン TEL.03-6411-5445まで

### ディエゴ・マテウス Diego Matheuz

クラウディオ・アバドの薫陶を受け、国際的なキャリアを築く。「グラモフォン」誌で「明日のアイコン」として紹介される。フェニーチェ劇場首席指揮者、オーケストラ・モーツァルト及びメルボルン交響楽団各首席客演指揮者を歴任。日本ではN響やセージ・オザワ松本フェスティバル、ドイツ・グラモフォン120周年記念スペシャル・ガラ・コンサート等に登場。2022年から小澤征爾音楽塾首席指揮者に就任。ミラノ・スカラ座管弦楽団、フランス国立放送交響楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団等、名門に数多く客演し、ベルリン州立歌劇場、リセウ大劇場、トリノ王立歌劇場、アン・デア・ウィーン劇場等に登場。メトロポリタン歌劇場には2023年『カルメン』でデビュー予定。東京二期会初登場。

### ジュネーヴ大劇場との共同制作 ブッチーニ『トゥーランドット』 (ルチアーノ・ベリオによる第3幕補作版)

オペラ全3幕 日本語字幕付原語(イタリア語)上演  
指揮:ディエゴ・マテウス 演出:ダニエル・クレマー  
セノグラフィ、デジタル&ライトアート:チームラボ  
合唱:二期会合唱団  
管弦楽:新日本フィルハーモニー交響楽団  
東京文化会館 大ホール  
2023年2月23日(木・祝) 18:00、24日(金) 14:00  
25日(土) 14:00、26日(日) 14:00

# 『トゥーランドット』の指揮者 ディエゴ・マテウスさんの躍動

次世代を担うアーティストとして最も注目を浴びているマエストロのひとり、ディエゴ・マテウスさん。ベネズエラ「エル・システム」の出身で、東京二期会初登場となるマエストロのヴィジョンを探ります。



2022年9月/パリ・オペラ座に『チェネレントラ』でデビューしたときのプログラム。

「I love you so much!」来年2月、東京文化会館で私の音楽や情熱を皆さんと共有できるのが今から待ちきれません」とディエゴ・マテウスさん。指揮者になつたきっかけや故郷ベネズエラについては「幼少期はごく普通の子どもでした。近所の子たちと(ベネズエラでは盛んな)野球をしたり、放課後に音楽教室に行ったり。音楽への好奇心、素晴らしい指揮者たちとの出会いが、今の仕事に通じています。指揮者はさまざまな国、文化、楽団を訪ね行く素敵な仕事ですから、年を重ねてもずっと続けた

いと思っています。ベネズエラはとても美しい国ですが、今は年に2度ほどしか帰れず、寂しいですね。『エル・システム』時代には、親友や長い付き合いとなる友人に巡り会い、音楽以外にも共にいろいろなることに取り組みました。かけがえのない時間です」と語ります。

来日も多く、名だたるオーケストラの指揮をしているマテウスさん。「マエストロ小澤に招いていただいたのは本当に幸運でした。日本のオーケストラもプログラムもレベルが高いと思います。また、クラシックが生まれた国に対するお客様のリスペクトや、曲への集中力、作品への向き合い方なども感銘を受けます」。

来日前の1月には、ベルリン・ドイツ・オペラでの『蝶々夫人』も予定され、まさにブッチーニ尽くしの2023年になるそう。「3作続くのでは今がブッチーニに専心、と言えるかもしれません。『トゥーランドット』は大傑作ですから、指揮者冥利に尽きます」。

## ベネズエラの教育システム「エル・システム」のスターのひとり

ディエゴ・マテウスも学んだ「エル・システム」は、世界的に「ベネズエラの音楽の奇跡」として知られ、子どもや若者たちが音楽教育を無償で受けられる育成の場。1975年、ホセ・アントニオ・アブレウ博士によって創設され、現在では、シモン・ボリバル音楽財団に属し、60万人の子供たちが参加する大プロジェクトに。

「エル・システム」のオーケストラ、合唱団などの子どもたちは、仲間という大きな「家族」に属することで自分の存在を再認識し、そこで将来プロの音楽家の夢を実現したり、社会性を身に着けます。ディエゴ・マテウスのほか、グスターボ・ドゥダメルやクリスティアン・バスケスなどの世界的指揮者や、ベルリン・フィルをはじめ、世界中の名門オーケストラで活躍するメンバーを輩出していることでも有名。



### 自然美しき南米の国 ベネズエラ・ボリバル共和国

ベネズエラ・ボリバル共和国は南米に位置する国。一説にはかつてこの地を訪れたスペイン人が、マラカイボ湖という湖で水上生活する先住民を見て「小さなヴェネツィア」と呼んだことが国名の由来となっています。ギアナ高地のテーブルマウンテン「ロライマ山」(上写真)など、壮大な自然にあふれ、日本ではカカオの生産地としても知られ、埋蔵量世界最大とも言われる原油産油国でもあります。



「エル・システム」から生まれたシモン・ボリバル・ユース・オーケストラ。

資料協力: 駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館



2023年11月23日～26日

日生劇場

＜東京二期会オペラ劇場＞

NISSAY OPERA 2023提携

えいこう  
ヘンツェ『午後の曳航』

オペラ全2部

- 指揮:アレホ・ベレス
- 演出:宮本亜門
- 管弦楽:新日本フィルハーモニー交響楽団
- 2023年11月23日(木・祝)、24日(金)、25日(土)、26日(日)
- 日生劇場
- 共催:公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]

宮本亜門が最愛とする三島由紀夫作品に、『金閣寺』以来挑むオペラ。フランドース・オペラ音楽監督の鬼オアレホ・ベレスとの初タッグにも注目です。



[右]指揮/アレホ・ベレス © Ishka Michocka  
[左]演出/宮本亜門

2024年7月18日～21日

東京(会場後日発表)

＜東京二期会オペラ劇場＞

ゼンパーオーパー・ドレスデン、デンマーク王立歌劇場、サンフランシスコ歌劇場との共同制作

プッチーニ『蝶々夫人』

オペラ全3幕

- 指揮:ダン・エッティンガー
- 演出:宮本亜門
- 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団
- 2024年7月18日(木)、19日(金)、20日(土)、21日(日)
- 東京

故・高田賢三の遺作となる衣裳デザインも話題となった『蝶々夫人』が、待望の凱旋公演。東京二期会初協働となるダン・エッティンガーが、ゆかりの東京フィルとピットイン。



2019年東京二期会オペラ劇場『蝶々夫人』  
©三枝近志

2023年10月13日～15日

東京文化会館 大ホール

＜東京二期会オペラ劇場＞

シュトゥットガルト州立歌劇場との提携公演

ヴェルディ『ドン・カルロ』

オペラ全5幕

- 指揮:アンドレア・バッティストーニ
- 演出:ロッテ・デ・ベア
- 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団
- 2023年10月13日(金)、14日(土)、15日(日)
- 東京文化会館 大ホール

ウィーン・フォルクスオーパー芸術監督のロッテ・デ・ベアが日本初演出。指揮は、バイエルン州立歌劇場でもイタリア語5幕版が絶賛を博したバッティストーニ。



シュトゥットガルト州立歌劇場公演より。  
© Matthias Baus

2024年5月25日・26日

めぐろパーシモンホール 大ホール

＜二期会ニューウェーブ・オペラ劇場＞

ヘンデル『デイダミア』

オペラ全3幕

- 指揮:鈴木秀美
- 演出:中村 蓉
- 管弦楽:ニューウェーブ・バロック・オーケストラ・トウキョウ
- 2024年5月25日(土)、26日(日)
- めぐろパーシモンホール 大ホール
- 共催:公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

2021年同シリーズの『セルセ』で好評を博した、鈴木秀美と中村蓉のコンビが復活。ヘンデル最後のオペラで、東京二期会では初めての上演となります。



[右]指揮/鈴木秀美 photo by K.Kimura  
[左]演出/中村 蓉 ©前澤秀登

東京二期会  
2023-2024

シーズン  
ラインアップ

去る9月6日、東京二期会では来シーズンのラインアップを発表しました。『ドン・カルロ』は東京以外での公演も後日発表予定。今後はさまざまな会場での公演を積極的に行ってまいります。ぜひ、ご期待ください。



記者会見では、『ドン・カルロ』出演予定の木下美穂子、城宏憲のほか、スペシャルゲストとして指揮のアンドレア・バッティストーニも登壇。

2024年2月28日～3月3日

東京文化会館 大ホール

＜東京二期会オペラ劇場＞

フランス国立ラン歌劇場との提携公演

ワーグナー『タンホイザー』

オペラ全3幕

- 指揮:アクセル・コーバー
- 演出:キース・ウォーナー
- 管弦楽:読売日本交響楽団
- 2024年2月28日(水)、29日(木)、3月2日(土)、3日(日)
- 東京文化会館 大ホール

パイロイト音楽祭が全幅の信頼を置く指揮者アクセル・コーバーが、勝負作で日本初登場！キース・ウォーナー演出『タンホイザー』の決定版を上演いたします。



2021年東京二期会オペラ劇場『タンホイザー』  
© Lasp Inc.

# オペラ・セット券

東京二期会 2023-2024 シーズン  
を発売します！

シーズンを通して東京二期会のオペラ公演をお楽しみいただけるよう、来シーズンのオペラ・セット券を期間限定で発売いたします。今回も、お選びいただきやすい「プレミア・セット」、「千秋楽セット」、「オペラ・フレンドバック」の3種類をご用意いたしました。

【発売期間】2023年1月14日(土)～3月14日(火)

最上席で

もっと気軽に

もっとお得に

ゴージャスにオペラを満喫！

オペラを楽しみたい！

プレミア・セット券

オペラはやっぱり華やかなプレミアの夜に！  
全演目の初日公演のS席セット

税込セット価格 **¥65,000-**  
(定価合計¥89,500-予定)

**28%**  
割引

千秋楽セット券

オペラを優雅に愉しむ、日曜日の午後  
全演目の千秋楽公演のS席セット

税込セット価格 **¥70,000-**  
(定価合計¥89,500-予定)

**22%**  
割引

オペラ・フレンドバック

全演目のプレミア公演または千秋楽公演  
(公演毎に選べます)のB～C席相当のセット

税込セット価格 **¥33,000-**  
(定価合計¥44,000-予定)

**25%**  
割引

2023年10月  
ヴェルディ『ドン・カルロ』《新制作》

10月13日(金) 18:00 開演

10月15日(日) 14:00 開演

指揮: アンドレア・バッティストーニ  
演出: ロッテ・デ・ベア  
管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団  
会場: 東京文化会館 大ホール  
予定販売定価(税込): S ¥22,000 C ¥10,000

2023年11月  
ヘンツェ『午後の曳航』《2005年改訂ドイツ語版日本初演・新制作》

11月23日(木・祝) 17:00 開演

11月26日(日) 14:00 開演

指揮: アレホ・ベレス  
演出: 宮本亜門  
管弦楽: 新日本フィルハーモニー交響楽団  
会場: 日生劇場  
予定販売定価(税込): S ¥17,000 B ¥9,000

2024年2月・3月  
ワーグナー『タンホイザー』

2月28日(水) 17:00 開演

3月3日(日) 14:00 開演

指揮: アクセル・コーバー  
演出: キース・ウォーナー  
管弦楽: 読売日本交響楽団  
会場: 東京文化会館 大ホール  
予定販売定価(税込): S ¥20,000 C ¥9,000

2024年5月  
ヘンデル『デイダミア』《新制作》

5月25日(土) 17:00 開演

5月26日(日) 14:00 開演

指揮: 鈴木秀美  
演出: 中村 蓉  
管弦楽: ニューウェーブ・バロック・オーケストラ・トウキョウ  
会場: めぐろパーシモンホール 大ホール  
予定販売定価(税込): S ¥13,500 B ¥8,000

2024年7月  
プッチーニ『蝶々夫人』

7月18日(木) 18:30 開演

7月21日(日) 14:00 開演

指揮: ダン・エッティンガー  
演出: 宮本亜門  
管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団  
会場: (東京)  
予定販売定価(税込): S ¥17,000 C ¥8,000

いずれのセット券もすべての公演でご希望の座席位置をお選びいただけます。

- 【ご注意】公演中止、延期の場合を除き、お求めいただいたチケットの払戻し、変更等はできません。●未就学児のご入場はお断り申し上げます。
- やむをえない事情により開演時間、出演者が変更となる場合がございます。
- セブンイレブンでの発券枚数制限の都合上、オンラインでのご予約の場合、1つのご予約につき2セットまでとさせていただきます。3セット以上ご希望の方はお電話でお申込みください。

「二期会オペラ愛好会」ご入会のごあんない

年会費: 2,500円 (有効期限=お申込み月の翌年同月末まで)

- オペラ公演のチケットを一般に先駆けて割引販売いたします。
- チケットご購入の方に、有料公演プログラム(1部1,000円)を1冊進呈いたします。
- 東京二期会情報誌『二期会通信OPERA』を定期配送いたします。
- その他、二期会オペラ愛好会限定の特別な情報などをご案内いたします。

- お電話でのご入会申込みの場合は、チケットのご予約と同時にご入会を承ります。
- オンラインでご入会申し込みの場合は、あらかじめ年会費のご決済をお済ませいただき、ID、パスワードをご取得の上、チケットをお申込みください。
- 従来からのプラスワン会員、ベネフィット会員のご継続、新規ご入会は、2022年12月末営業日をもって終了とさせていただきます。

オペラ・セット券と同時にご入会で  
全公演の有料公演プログラムをご進呈！

『デイダミア』は無料配布プログラムにつき、  
当該サービスの適用はございません。

お問合せ・ご予約: 二期会チケットセンター 03-3796-1831

<http://www.nikai.net/ticket> 二期会チケット 検索

## 二期会創立70周年記念公演シリーズ

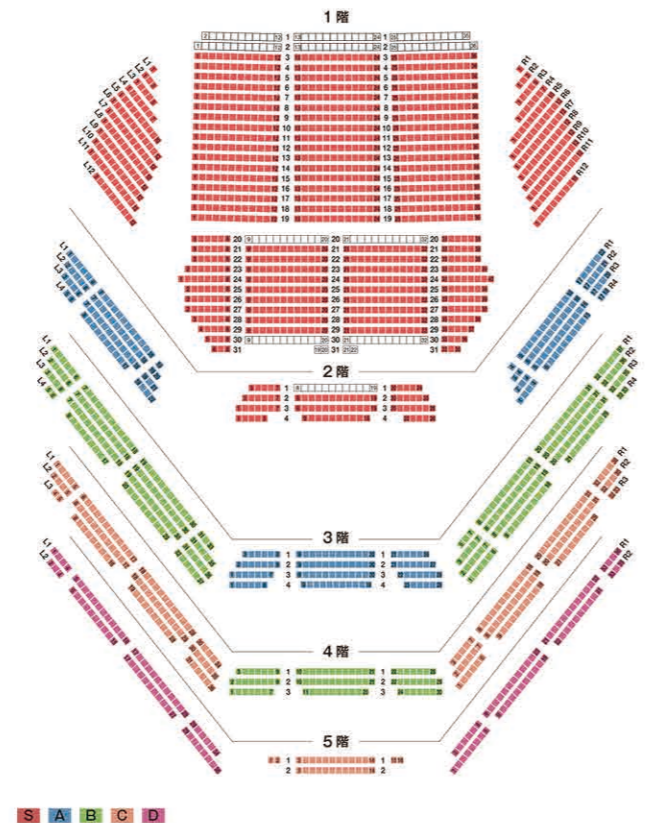
マンハイム国民劇場音楽総監督ソディー、日本オペラデビュー宝塚歌劇団所属の原田諒が、豪華絢爛な舞台上で魅せる！

東京二期会オペラ劇場  
**ヴェルディ『椿姫』**  
 オペラ全3幕 日本語字幕付原語(イタリア語)上演

東京文化会館 大ホール  
 2023年7月13日(木)18:30、15日(土)14:00  
 16日(日)14:00、17日(月・祝)14:00  
 指揮:アレクサンダー・ソディー 演出:原田諒(宝塚歌劇団)  
 装置:松井るみ 衣裳:前田文子 照明:喜多村貴 振付:麻咲梨乃  
 合唱指揮:佐藤宏 演出助手:澤田康子 舞台監督:村田健輔  
 公演監督:大島幾雄 公演監督補:澤畑恵美

	7/13(木)・16(日)	7/15(土)・17(月・祝)
ヴィオレッタ	谷原めぐみ	種谷典子
フローラ	小泉詠子	郷家暁子
アンニーナ	藤井麻美	磯地美樹
アルフレード	村上公太	山本耕平
ジェルモン	今井俊輔	黒田博
ガストン	大槻孝志	岸浪愛学
ドゥフォーール	小林由樹	高田智士
ドビニー	山下浩司	北川辰彦
グランヴィル	峰茂樹	三戸大久

合唱:二期会合唱団 管弦楽:読売日本交響楽団  
 全席指定 チケット一般(愛好会)料金  
 S17,000(16,000)円 A14,000(13,000)円 B11,000(10,000)円  
 C8,000円 D6,000円 学生2,000円



※新型コロナウイルス感染予防策として、歌唱を伴うステージとお客様との十分な距離を確保するため、1階席1・2列目は販売いたしません。

7/13(木)は「プレミエ・スペシャル料金」=S~B席1,000円引き!

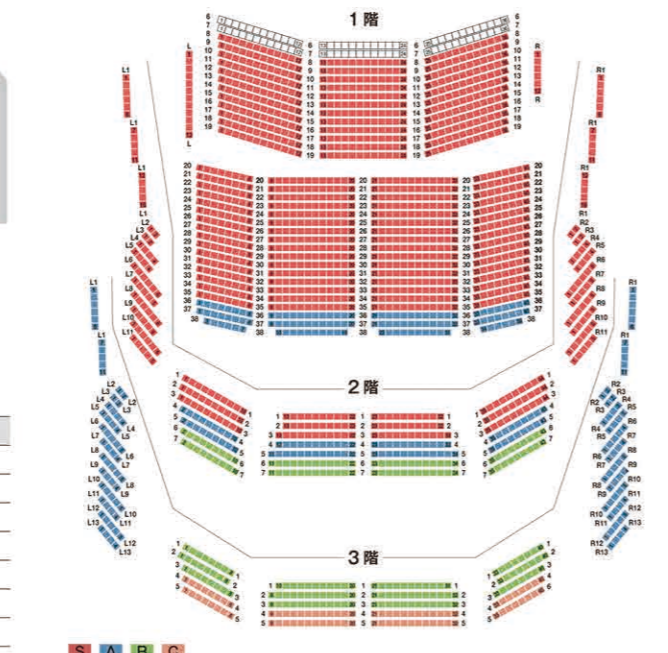
## 『椿姫』『平和の日』2公演同時発売！ 二期会オペラ愛好会先行:12月10日(土)~ 一般発売:12月17日(土)~

ナチスの台頭とともに悲運に翻弄された幻のオペラ  
 名匠、準・メルクルがシュトラウスの真理を導く

東京二期会コンチエルトアンテ・シリーズ[セミ・ステージ形式上演]  
**R.シュトラウス『平和の日』**  
 オペラ全1幕 日本語字幕付原語(ドイツ語)上演 **日本初演**

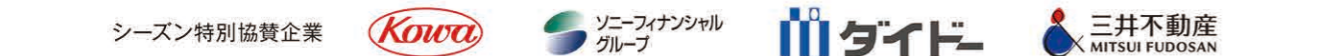
Bunkamura オーチャードホール  
 2023年4月8日(土)17:00、9日(日)14:00  
 指揮:準・メルクル  
 舞台構成:太田麻衣子 映像:栗山聡之 照明:八木麻紀 合唱指揮:大島義彰  
 舞台監督:幸泉浩司 公演監督:佐々木典子 公演監督補:大野徹也

	4/8(土)	4/9(日)
包囲された街の司令官	清水勇磨	小森輝彦
マリア その妻	中村真紀	渡邊仁美
衛兵	北川辰彦	大塚博章
狙撃兵	高野二郎	岸浪愛学
砲兵	高田智士	野村光洋
マスケット銃兵	松井永太郎	高崎翔平
ラッパ手	倉本晋児	清水宏樹
士官	石崎秀和	杉浦隆大
前線の士官	的場正剛	岩田健志
ピエモンテ人	前川健生	山本耕平
ホルシュタイン人 包囲軍司令官	河野鉄平	狩野賢一
市長	伊藤達人	持齋寛匡
司教	堺裕馬	寺西一真
女性の市民	石野真帆	中野亜維里



※新型コロナウイルス感染予防策として、歌唱を伴うステージとお客様との十分な距離を確保するため、1階席1・2列目は販売いたしません。

合唱:二期会合唱団 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団  
 全席指定 チケット一般(愛好会)料金  
 S10,000(9,500)円 A9,000(8,500)円 B6,000円 C4,000円  
 学生2,000円



ジュネーブで絶賛された最先端の「トゥーランドット」が東京に！  
 ベネズエラの俊才、ディエゴ・マテウス二期会初登場！

東京二期会オペラ劇場  
 ジュネーブ大劇場との共同制作  
 都民芸術フェスティバル参加公演

## ブッチーニ『トゥーランドット』

(ルチアーノ・ベリオによる第3幕補作版)  
 オペラ全3幕 日本語字幕付原語(イタリア語)上演



東京文化会館 大ホール  
 2023年2月23日(木・祝)18:00、24日(金)14:00  
 25日(土)14:00、26日(日)14:00

全国4都市をめぐる「フィガロ」キャラバン後半戦！  
 山形交響楽団常任指揮者・びわ湖ホール次期芸術監督の阪哲朗が登場

文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業  
 (コロナ禍からの芸術文化活動の再興支援事業)  
 2022 グランドオペラフェスティバル in Japan  
 二期会オペラ

## モーツァルト『フィガロの結婚』

オペラ全4幕 日本語字幕付原語(イタリア語)上演

(大阪) 2023年1月22日(日)14:00  
 フェニーチェ堺 大ホール  
 (山形) 2023年1月28日(土)14:00  
 やまぎん県民ホール 大ホール

指揮:ディエゴ・マテウス 演出:ダニエル・クレマー  
 セノグラフィ、デジタル&ライトアート:チームラボ  
 合唱:二期会合唱団 管弦楽:新日本フィルハーモニー交響楽団

全席指定 チケット一般(愛好会)料金  
 S22,000(21,000)円 A18,000(17,000)円 B14,000(13,000)円  
 C10,000円 D6,000円 E2,000円 学生2,000円

[2/24(金)は、平日マチネ特別料金！=S~B席1,000円引き]

チームラボHPでも公演情報が掲載されました！  
 ジュネーブ大劇場での舞台写真、映像満載！

指揮:阪哲朗 演出:宮本亞門 合唱:二期会合唱団  
 管弦楽:関西フィルハーモニー管弦楽団(大阪)、山形交響楽団(山形)

全席指定  
 (大阪)S10,000円 A8,000円 B6,000円 C4,000円 D2,000円  
 (山形)SS11,000円 S10,000円 A8,000円 B6,000円 C4,000円  
 ※24歳以下:S~B席の各席種半額

主催:オペラキャラバン・ジャパン実行委員会、公益財団法人東京二期会

2022グランドオペラフェスティバル in Japan 特設ページ  
<https://www.opera-g.jp/>  
 公式twitter 始めました!  
 @gofj2022 <https://twitter.com/gofj2022/>

## 二期会オペラ研修所 第66期マスタークラス修了試演会

2023年2月15日(水) 12:00大野徹也クラス/17:00佐々木典子クラス 武蔵野音楽大学ブラームスホール  
 全席指定 各クラス1,500(1,300)円 2クラスセット券2,500円 ※クラスごと入替有  
 出演:第66期マスタークラス研修生

## 二期会イタリア歌曲研究会 定期演奏会LVII 愛と死~ガエターノ・ドニゼッティ室内歌曲

2023年2月28日(火)18:30 北とびあ つつじホール  
 全席自由 4,000円  
 監修:鴨川太郎 企画・構成:高橋和恵 出演:井口慈子 大町加津子 西山恵子 村田由紀子 村松織部 鴨川太郎 ピアノ:村上尊志 山岸茂人

### 東京二期会へのご支援をお願いいたします

平素より、私ども東京二期会の活動にひとかたならぬご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。  
 私どもは今年、70周年という節目の年を迎えておりますが、ワールドプレミエとして注目を集めておりました『影のない女』公演を中止せざるを得なくなるなど、波乱の船出と言っても過言ではありません。このような事態にあっても、未来へ向け、オペラの魅力を伝えるべく、「二期会創立70周年記念寄付」の募集もいたしております。これまでも多くの貴重なサポートに支えられ、我が国のオペラ文化発展に寄与すべく公演活動を展開してまいりましたが、私どもの節目を機に、また改めて篤いご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

公益財団法人東京二期会

東京二期会への寄付は、税額控除の優遇措置が受けられます

詳細は、東京二期会ホームページ (<http://www.nikikai.net>) または  
 右記のQRコードよりアクセスをお願いいたします(クレジットカード決済も24時間承っております)。

お電話での受付  
 ならびにお問合せ先 TEL 03-3796-1831 [donation@nikikai.net](mailto:donation@nikikai.net) 公益財団法人東京二期会 マーケティング部

チケットご予約・お問合せ 二期会チケットセンター

お電話でのチケットお申込 **03-3796-1831** 平日/10:00~18:00 土/10:00~15:00 日祝休

WEBからのチケットお申込 <http://www.nikikai.net> 二期会チケット

24時間受付/システム利用料・発券手数料無料  
 二期会オペラ愛好会のお客様は、ログインされますとWEBからのお申込みでも特別価格でお買い求めいただけます



そこに、一枚の葉っぱと、  
一枚の紙幣があったなら。

あなたは、どちらが大切だと思いますか。

私たちは銀行です。  
いうまでもなく、人間社会におけるお金の大切さを知っています。  
私たちが果たしている役割を信じています。

でも。  
自然の支えなくしては、その社会は続かない。  
そのこともよく知っています。

空気と水への感謝を、一枚の葉っぱのありがたみを、  
将来の世代に受け渡して行くこと。  
それをさぼってはいけないと思うから。

三井住友銀行は、「富良野自然塾」を2006年の創設から  
支援しているのをはじめ、様々な分野で  
サステナビリティのための取り組みを行なっています。



TVCM公開中!

SMBC Group  
GREEN × GLOBE 2030

三井住友銀行